

# Google マップ用 KML/KMZ ファイルの作成

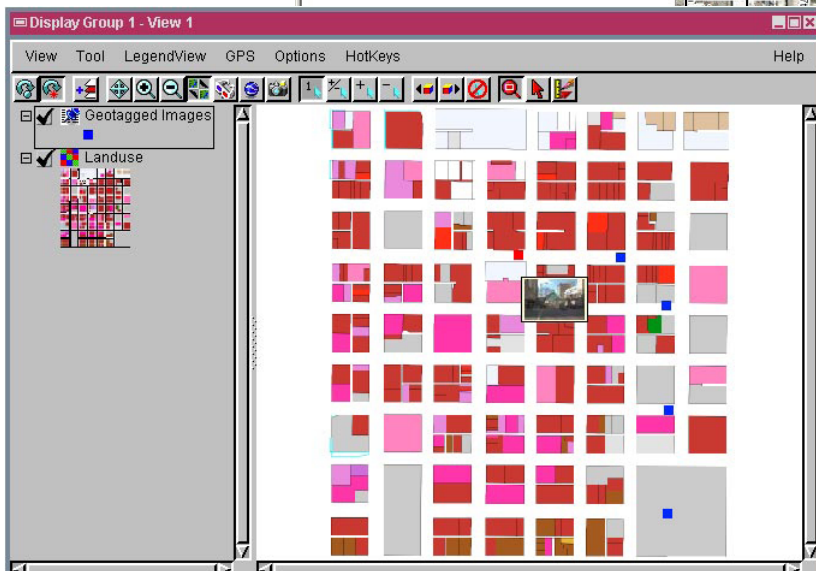
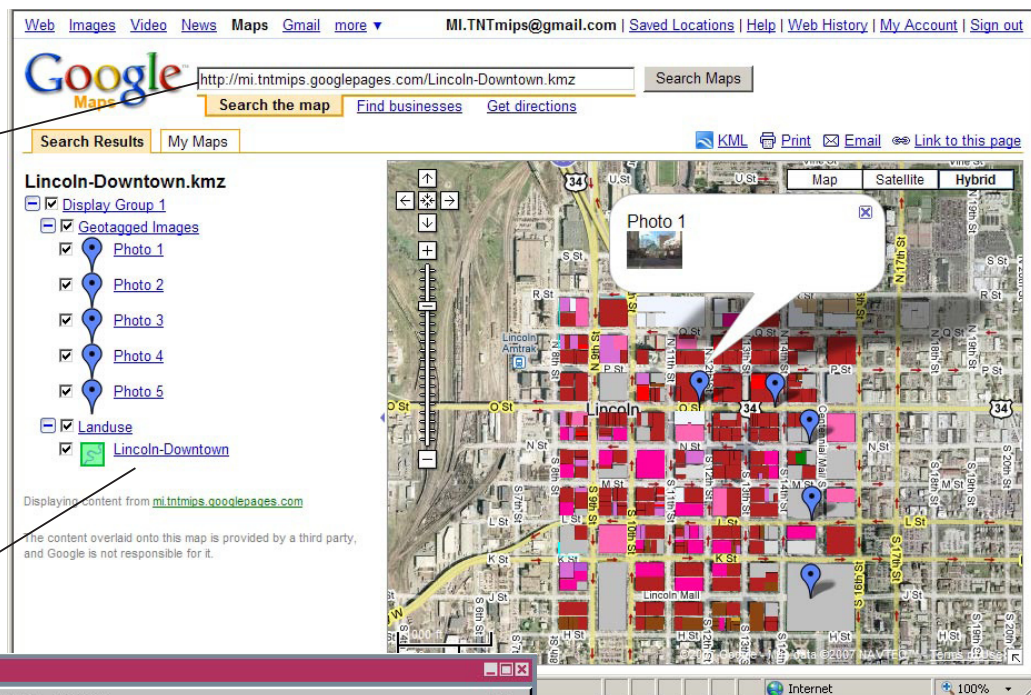
TNTmips で作った KML や KMZ ファイルは、ウェブサイトにアップロードさえすれば Google マップで表示することができます。あなたでも他の誰でも maps.google.com へ行き、KML/KMZ の URL を入力し、[地図を検索 (Search)] ボタンをクリックすればそれらを表示できます。この URL によって定義された KML や KMZ ファイルは、オーバレイとして通常の Google マップに自動的に表示されます。レイヤは上に重ねて表示されるので、TNT 製品で半透明にしておかないと、Google マップの内容が隠れてしまいます。この方法で使うためには、KML および KMZ ファイルのサイズは約 1 メガバイトに制限されていますので、重ねる画像や一連のデジタル写真のサイズも制限されます。返すことができる要素の数にも制限があります。KMZ ファイルは圧縮した KML ファイルであり、Google マップのオーバレイとして使用する場合のサイズ制限は、KMZ ファイルの非圧縮時のサイズに適用されます。

TNTmips は、リンクした地理データファイルや、TNT オブジェクト、グループ、レイアウトから KML や KMZ ファイルを作成する様々なツールを提供します。表示処理における KML や KMZ へのレンダリング機能では、グループやレイアウトの全部または一部に対してこれらのファイルを作成できます。リンクした各種図形ファイルフォーマットや、シェイプ、CAD またはベクタオブジェクト中の要素をこれらの Google 形式に変換するには、エクスポート処理を使います。「ジオタグ付き画像データベース生成 (Create Geotagged Image Database)」機能はこれらのフォーマットに保存可能なピンマップレイヤを作ります。テクニカルガイドの「エクスポート: 各種図形オブジェクトの KML 出力 (Export: Geometric Objects to KML)」および「空間表示: ラスタオブジェクトの KML へのレンダリング (Spatial Display: Render Raster Objects to KML)」には、様々な TNTmips の処理を使った KML ファイル作成に関する情報があります。

KML または KMZ ファイルの URL をウェブサイトからコピーしてここにペーストします。

この例では、TNTmips の表示処理で生成された KMZ ファイルがサンプルウェブサイト <http://mi.tntmips.googlepages.com/> で公開されています。このページは、gmail のアカウントを使用した無料のウェブページ製作ツールである、Google ページクリエイターで作られたものです。

TNTmips のグループの内容 (下図) が Google マップに表示されたところ (右図)。



上図は、Google マップで表示した KMZ ファイルを示しています。上の KMZ ファイルは、TNTmips の表示処理にある「Google Earth KML へのレンダリング」機能を使って作られました。グループにはリンカーン北東部のダウンタウンの土地利用を示すラスタレイヤと、画像データタイプ (左図) の形式でダウンタウンの写真を表示するピンマップレイヤが含まれ、KMZ 圧縮の KML ファイルにレンダリングしました。TNTmips で作られた画像データタイプが Google マップでもそのまま使えます。もし、KMZ 圧縮をしなくて KML ファイルを作成しても、Google マップを使って KML ファイルを見ることができます。しかし、できれば KML よりも KMZ フォーマットを使うようおすすめします。なぜなら、KML フォーマットでは KMZ フォーマットのように画像へのリンクが内部に保存されないからです。KML ファイルを使って Google マップで期待した結果を得るには、KML ファイルと一緒に全てのリンク画像を自分のウェブサイトにアップロードしておく必要があります。